

神戸市須磨区湖見台町1-3-1

赤木真澄方

日本ミニコミセンター

郵便番号 654

月2回(1日・15日)刊目標

直接購読制(送料込)

16号分200円

額価 1部 20円

Meta

6番目の被告としてのノート(前編)

わたしはここにノートするのは、他の知らないへ／＼裁判が表現にかかる問題を提起しているからだ。主體設定の変化が早すぎる。主体のりんかくが薄すぎる。

松下昇「六甲」

氏が彼の表現のなかで織りかえされてきたことを、ここで少し述べたことを、ここで少し述べようとしているものあり、これが、「六甲」と書くとき、この裁判そのものが、へ／＼をつける刀と格闘する現場だから、そのためへ／＼はやむなくこの裁判の上にはみ出てしまった。そして、へ／＼裁判とそもそも無関係に見えるものが強制的に結合させられ、もつとも關係するものが強制的に引き剥がされている現場だ。

いまわたしたちは、このへ／＼裁判の第六番目の被告だと言うとき、さまざまに集団する調解に終始つきまとわざるえない。このような調停を解くことができるかどうか、という問い合わせて、いまわたしは表紙についてへ／＼裁判というものをどのように語るかを明らかにする努力で答えるようと思う。このことは、第一回公判(既一被告公判会議、12月24日)において、無断の未確定な接告がつづきと登場し、ついに誰が被告であるかさえわからない情況を作り出してしまった、ということと密接に関連してきていた。これらの新聞はほんまに異なる。そして、そこから、いくつも成長をもった活動のようになってきている。これらの時間についわけ必要かつ根本的な問題は、は

わたしがここにノートするのは、他の知らないへ／＼裁判が表現にかかる問題を提起しているからだ。主體設定の変化が早すぎる。主体のりんかくが薄すぎる。

松下昇「六甲」

氏が彼の表現のなかで織りかえされてきたことを、ここで少し述べたことを、ここで少し述べようとしているものあり、これが、「六甲」と書くとき、この裁判そのものが、へ／＼をつける刀と格闘する現場だから、そのためへ／＼はやむなくこの裁判の上にはみ出てしまった。そして、へ／＼裁判とそもそも無関係に見えるものが強制的に結合させられ、もつとも關係するものが強制的に引き剥がされている現場だ。

いまわたしたちは、このへ／＼裁判の第六番目の被告だと言うとき、さまざまに集団する調停に終始つきまとわざるえない。このような調停を解くことができるかどうか、という問い合わせて、いまわたしは表紙についてへ／＼裁判というものをどのように語るかを明らかにする努力で答えるようと思う。このことは、第一回公判(既一被告公判会議、12月24日)において、無断の未確定な接告がつづきと登場し、ついに誰が被告であるかさえわからない情況を作り出してしまった、といふことと密接に関連してきていた。これらの新聞はほんまに異なる。そして、そこから、いくつも成長をもった活動のようになってきている。これらの時間についわけ必要かつ根本的な問題は、は

